

2021年1月14日

各位

根岸製油所における一部装置の廃止について

当社（社長：大田 勝幸）は、根岸製油所（所長：原 敬、神奈川県横浜市磯子区）の原油処理装置の一部および潤滑油製造装置を2022年10月目途に廃止し、当社石油製品の生産・供給体制の再構築を行うことを決定しましたので、お知らせいたします。

廃止する主な装置は、2系列ある常圧蒸留装置（トッパー）のうち、第1トッパー（120千バレル／日）と、その系列の二次装置である減圧蒸留装置や接触分解装置など、また、潤滑油製造装置（ベースオイル生産能力：270千KL／年）です。第1トッパーの廃止により、根岸製油所の原油処理能力は、150千バレル／日に、当社グループ合計では、約1,750千バレル／日となる予定です。

なお、潤滑油については、他所からベースオイルを転送し製品製造（ブレンド）および出荷は継続します。

石油精製販売事業を取り巻く環境は、国内石油製品の構造的な需要減退やアジアを中心とした国際競争の激化に加え、新型コロナウイルスによる急激な需要減少などもあり、厳しさを増しております。

当社では、安全・安定操業および安定供給を前提に、製油所・製造所の最適生産・供給体制の再構築を進めておりますが、今般、根岸製油所の一部装置を廃止することで、さらなる競争力の強化を図る必要があるとの結論に至りました。

当社は、基盤事業である石油製品・石油化学製品事業におけるサプライチェーン全体の競争力強化を図り、安定供給を前提とした最適な生産・供給体制の構築を、スピード感をもって推進してまいります。

以上

<根岸製油所の概要>

所在地 : 神奈川県横浜市磯子区鳳町1番1号
 操業開始 : 1964年(昭和39年)
 所長 : 原敬
 従業員 : 702名(2020年12月1日現在)
 敷地面積 : 220万m²
 原油処理能力 : 270,000 バレル/日

<ENEOSの製油所・製造所体制>

● 製油所10拠点

原油処理能力：合計1,868.8千B/D

* 下図の各製油所の数字は2021年1月14日時点の原油処理能力

▲ 製造所2拠点

